

三奥屋が携帯ゲーム活用し販促 商品買ってアイテムゲット

2010年01月15日 11:44

漬物製造販売の「三奥屋」(高島町、近清剛社長)は、携帯電話の位置情報機能で楽しめるゲーム「位置ゲー」を活用したユニークな販売促進サービスを始めた。携帯ゲーム会社コロプラ(東京)と提携し、ゲーム会員が同社の米沢店(米沢市中央1丁目、白石久美店長)を訪れて商品を買くと、特典としてゲーム上で使える特別アイテムが獲得できる仕組み。県内でのコロプラ提携店は初めてで、8日のサービス開始直後から県内外のゲームユーザーが連日数十人来店するなど、早くも販促効果が表れている。



三奥屋米沢店が携帯ゲーム会員に配布している土産カード「コロカ」。これを目当てに県内外から客が訪れている

コロプラが運営する「コロニーな生活☆PLUS(コロプラ)」は、携帯電話の衛星利用測位システム(GPS)機能や基地局情報を活用した「位置ゲー」と呼ばれる携帯向けゲーム。登録会員が実生活の移動距離に応じゲーム上の通貨「プラ」が得られ、仮想空間内の自分だけの街「コロニー」を育てたり、全国のお土産収集や近隣コロニーとのコミュニケーションも楽しめる仕掛けだ。現実社会と仮想空間が連動した面白さが人気を呼び、登録会員数は数十万人にもなるという。

コロプラと提携したお土産スポンサー店舗は現在、全国で30店舗超。コロプラは各都道府県ごとに1業種1店舗の提携を目指しており、県内では三奥屋米沢店が第1号。今回の提携により米沢店では、ゲーム会員であることを申告した客に、購入額に応じて金(5000円購入・お土産10個購入可能)銀(2000円・4個)青(1000円・2個)の3種類のカード「コロカ」をプレゼント。カード裏面の識別番号を携帯に入力すると仮想空間内のスポンサーお土産「三奥屋の晩菊」が獲得できる。

三奥屋米沢店では、8日午前11時のサービス開始直後に神奈川県川崎市からゲーム会員が来店。9～11日の3連休には東北各県や首都圏から連日数十人の会員が「コロカ」目当てに訪れたという。同社の佐藤芳彰営業部長は「コロプラとの提携効果に驚いている。新たな顧客層拡大につながれば」と期待している。